



# 令和6年度会務・会計報告



## 日本弁理士クラブ 幹事長報告

令和6年度 日本弁理士クラブ幹事長  
石橋良規

### 1. はじめに

令和6年度日本弁理士クラブ（以下、「日弁」とします。）幹事長を務めました、南甲弁理士クラブ所属の石橋良規です。就任中は大変お世話になりありがとうございました。皆さまのお蔭様でとても楽しい一年間でした。

以下に、日弁の主な活動をご報告いたします。

### 2. 令和6年度の主な活動

日弁として活動するにあたっては、昨年度と同様、以下の5つを基本方針といたしました。

#### 【基本方針】

- 1) 日本弁理士会の会務運営(人事・政策)を支える。
- 2) 一体となって本年度の弁理士会役員選挙に臨む。
- 3) 知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善について積極的に提言する。
- 4) 日弁構成会派の連携強化を図る。
- 5) 魅力ある組織をめざして活動する。

上記基本方針のもとで行った令和6年度の主な活動は以下のとおりです。

#### (1) 日本弁理士会への人事協力

日本弁理士会への人事協力は日弁の重要な役割であり、これまでも日本弁理士会の委員会、附属機関や地域会に優秀な人材を推薦してきました。令和6年度も、日弁出身の鈴木一永日本弁理士会会長、およびその執行部を支えるべく、人事協力をいたしました。具体的には、令和6年1～3月に開催された次年度人事検討委員会において、多くの日弁会員を種々のポストに

推薦させていただきました。推薦にあたり、日弁を構成する各派の幹事長や人事担当の皆様にはたくさんのご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

#### (2) 日本弁理士会役員選挙への対応

令和6年度は日本弁理士会会長選挙の年であることもあり、早々に準備を開始しました。具体的には、昨年度、西日本弁理士クラブ様から「会長候補擁立の意思がある」との連絡をいただいていたことから、このことを日弁各派に周知するとともに、日弁各派の意向を確認、調整を行い、5月の幹事会にて、今年度の日本弁理士会会長選挙においては、日弁からは会長候補を擁立せず、西日本弁理士クラブ様が擁立する会長候補を推薦することを決定いたしました。

一方で、日本弁理士会副会長4名、関東ブロック常議員13名、東海ブロック常議員2名、および監事3名の候補者を擁立することも決定し、例年通りのスケジュールで選挙への準備を進めました。なお、関東ブロック常議員に関しては、当初は14名の擁立を考えておりましたが、諸事情により13名となりました。

その結果、会長選挙、常議員選挙、および監事選挙については、いずれも無投票にて日弁が擁立する候補者の当選を勝ち取ることができました。一方で、副会長選挙においては、投票選挙となりましたが、日弁推薦の候補者全員が無事に当選を果たすことができました。日弁および日弁を構成する各派の選挙対策委員会の皆様、大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

#### (3) 会長候補予定者（会長立候補者）のマニフェストへの関与

令和6年度は、上記の通り、西日本弁理士クラブ様が擁立する会長候補を推薦することについて、比較的早い段階で決定できたことによ

り、会長候補予定者のマニフェストに積極的に関与することができました。具体的には、弁理士連合クラブ様の協力も得て、日弁、西日本弁理士クラブ、および弁理士連合クラブの代表メンバーにて「三派合同政策検討会」を2回（7月と8月にそれぞれ1回ずつ）行うことができました。

過去にも上記三派が会長候補予定者を共同推薦することはありましたが、マニフェストを三派で本格的に検討したことはなかったと思われる、一歩進んだ協力体制を築けたと考えます。

なお、三派合同政策検討会を開催するにあたっては、西日本弁理士クラブ幹事長の中川雅博先生、弁理士連合クラブ幹事長の笹野拓馬先生、および日弁政策委員長の長濱範明先生には、多大なる御尽力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

#### (4) 旅行会の開催

令和6年度は「コロナ禍」の終息にともない、久しぶりに温泉地での「ザ・旅行会」を100名を超える規模で開催することができました。具体的には、令和6年6月22日（土）～23（日）に栃木県の鬼怒川温泉にて、温泉に入り、美味しい料理を食べ、歌い、語り合いました。

### 3. 委員会活動

#### (1) 政策委員会

例年と同様、日本弁理士会への政策的サポートや、日弁ホームページ内の「近年の日弁輩出の日本弁理士会会長及びその政策概要」の部分のアップデートに加え、「日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策についての検討」として「委員会活動や会務活動の活性化」をテーマとして深く検討いただきました。

また、上記会長候補予定者のマニフェストづくりに関し、上記「三派合同政策検討会」を実施いただきました。

#### (2) 協議委員会

上記のとおり、日本弁理士会の役員選挙への対応はもとより、副会長立候補者の紹介イベン

ト（2024年9月30日）や、役員選挙当選祝賀会（2024年11月21日）の企画・運営を行なっていただきました。

#### (3) 研修委員会

2024年9月6日に、石神恒太郎先生をお招きして「付記試験・過去問解析講座」という研修を行いました。

また、2024年10月1日に、安立卓司先生をお招きして「新しい意匠」を出願する際の留意点」という研修を行いました。

#### (4) 会報委員会

会報第48号の発行に向けて活動いただきました。

#### (5) 広報委員会

日弁ホームページの管理およびアップデート、会報のホームページ掲載などを行っていただきました。

### 4. 行事

#### (1) 令和6年度執行部の紹介イベント：

2024年3月19日

#### (2) テニス大会：

開催予定であったテニスコートの工事につき中止

#### (3) 旅行会（鬼怒川温泉）：

2024年6月22日～23日

#### (4) ゴルフ大会（鬼怒川カントリークラブ）：

2024年6月23日

#### (5) リレーマラソン大会：

2024年11月17日

#### (6) 役員選挙当選祝賀会：

2024年11月21日

#### (7) ボウリング大会：

2024年12月3日

### 5. おわりに

最後になりましたが、令和6年度の日弁の種々の活動を支えていただいた政策委員長および幹事会メンバーを紹介させていただきます。

最高のメンバーと1年間楽しく活動できました。

ありがとうございました！！

**政策委員長**

(春秋) 長濱 範明 先生

**副幹事長**

(P A) 鈴木 大介 先生

(春秋) 藤村 明彦 先生

(南甲) 大塚 啓生 先生

(無名) 石原 進介 先生

(稲門) 松橋 純裕 先生

**幹事**

(P A) 坂本 智弘 先生、山本 修 先生

(春秋) 榛葉 貴宏 先生、服部謙太郎 先生

(南甲) 佐藤 雄哉 先生、森 貴信 先生

(無名) 金山 義信 先生、今村 秀世 先生

(稲門) 横山麻理子 先生、本間 憲之 先生



## 令和6年度 日本弁理士クラブ 政策委員会活動報告

政策委員長 長 濱 範 明

### 1. 委員会の構成

令和6年度の日本弁理士クラブ政策委員会は、以下のメンバー（順不同、敬称略）で構成されています。

委員長 長濱 範明（春秋）

担当副幹事長 藤村 明彦（春秋）

副委員長

渡邊 伸一（P A） 須藤 晃伸（春秋）

千且 和也（南甲） 和田 光子（無名）

市川 ルミ（稲門）

委員

高橋 雅和（P A） 堀籠 佳典（P A）

宗像 孝志（P A） 高橋 昌義（春秋）

徳本 浩一（春秋） 河野 生吾（南甲）

佐々木香織（南甲） 金森 寛（無名）

安立 卓司（無名） 大貫 敏史（稲門）

筆宝 幹夫（稲門）

### 2. 委嘱事項について

本年度の事業計画において政策委員会に対して委嘱された事項は以下の通りです。

#### 【委嘱事項1】

会長候補予定者及びその会派との政策（マニフェスト）の検討

#### 【委嘱事項2】

鈴木会長の令和5年度政策概要及び令和6年度事業計画概要のまとめ（日弁HPのアップデート）

#### 【委嘱事項3】

日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応

#### 【委嘱事項4】

日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）

#### 【委嘱事項5】

日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策（10年後を見据えて）の検討

### 3. 活動報告

令和6年3月4日（月）の第1回委員会で立上げ、その後、月1回のペースで開催して以下の通り委嘱事項等について検討及び対応いたしました。毎回、石橋幹事長、大塚庶務担当副幹事長、藤村政策担当副幹事長にも出席いただき、副委員長及び委員の出席率も高く、全員参加型の議論を中心に活発に活動しました。

【第1回】 3月4日（月）＜リアル開催：出席19、欠席1＞

\* 役割分担、委嘱事項の説明と進め方の検討、等

【第2回】 4月10日（水）＜Web開催：出席18、欠席2＞

\* 委嘱事項5における検討テーマの選定と進め方の検討、等

【第3回】 5月8日（水）

＜ハイブリッド開催：出席18（内Web2）、欠席2、ゲスト [役員]7＞

\* 鈴木一永会長の政策の実行状況と実行予定についての報告及び質疑応答

【第4回】 6月12日（水）

＜ハイブリッド開催：出席18、欠席2、ゲスト [西弁]9（内Web4）＞

\* 北村修一郎先生による政策案の説明及び質疑応答

【第5回（拡大）】 7月10日（水）

＜ハイブリッド開催：出席21（内Web2）、欠席0、ゲスト [西弁]11（内Web5）、ゲスト [連合]28（内Web12）＞

\* 第1回三派合同政策検討会（北村修一郎先生の政策案のブラッシュアップ）

【第6回（拡大）】 8月7日（水）

＜ハイブリッド開催：出席25（内Web2）、欠席3、ゲスト [西弁]9（内Web6）、ゲスト [連合]21（内Web10）＞

\* 第2回三派合同政策検討会（北村修一郎先生の政策案のブラッシュアップ）

【第7回】 9月4日（水）

＜ハイブリッド開催：出席18（内Web4）、欠席2＞

\* 委嘱事項5の検討テーマ「会務活動（社会貢献活動含む）活性化」についての検討、等

【第8回】 10月9日（水）

＜ハイブリッド開催：出席18（内Web2）、欠席2＞

\* 委嘱事項5の検討テーマ「会務活動（社会貢献活動含む）活性化」についての検討、等

【第9回（拡大）】 11月13日（水）

＜ハイブリッド開催：出席23（内Web1）、欠席2、ゲスト [西弁]7（内Web1）、ゲスト [連合]21（内Web10）＞

\* 三派合同次年度事業計画案説明会（次年度事業計

画案及び次年度予算案についての次年度役員からの説明とディスカッション)

【第10回】 12月11日 (水)

<ハイブリッド開催：出席18 (内Web5)、欠席2>

\* 委嘱事項5の検討テーマ「会務活動 (社会貢献活動含む) 活性化」についての検討、等

### (1) 委嘱事項1について

次期会長選挙に関し、西日本弁理士クラブ(西弁)が擁立予定の北村修一郎先生を日弁として推薦することが正式に決定された後、日弁として北村修一郎先生の政策案(マニフェスト案)の検討に加わらせていただけるよう西弁へ要望し、6月12日(水)の第4回委員会において北村修一郎先生から直接政策案の説明を受け、質疑応答を通じて活発な議論をすることができました。

さらに、北村修一郎先生の政策案を共に検討することに弁理士連合クラブ(連合)の賛同も得ることができ、日弁と西弁に連合も加わって三派で政策協議する場を実現することができました。

具体的には、西弁の政策案について日弁各派及び連合がそれぞれ事前に検討したうえで7月10日(水)に第1回三派合同政策検討会を開催し、日弁、西弁、連合の総勢60名で検討し、多岐にわたる意見を、採否は西弁に一任することを前提に日弁及び連合から西弁に伝えることができました。

そして、その結果を踏まえて西弁がバージョンアップした政策案を日弁各派及び連合が事前に検討したうえで8月7日(水)に第2回三派合同政策検討会を開催し、日弁、西弁、連合の総勢55名で再び検討し、政策案を三派でブラッシュアップすることができました。

さらに、11月13日(水)に三派合同次年度事業計画案説明会を開催し、日弁、西弁、連合の総勢51名で、次年度事業計画案及び次年度予算案について次年度役員から説明を受け、ディスカッションすることができました。

### (2) 委嘱事項2について

執行役員会が令和5年度に実行した政策の概要と令和6年度に計画している事業計画の概要を、鈴木一永会長の出身会派である無名会の政策委員会に取り

纏めていただき、日弁ホームページに掲載しました。

### (3) 委嘱事項3について

執行役員会により開催された5月15日(水)の三派説明会に政策委員会のメンバーも出席し、令和6年度の事業計画・予算・重点施策、事務総長に関する例規改正への協力要請等について説明を受け、その場で執行役員会に意見を伝えました。

さらに、執行役員会により開催された8月7日(水)の三派説明会に政策委員会のメンバーも出席し、令和6年度の事業計画の進捗状況、事務総長に関する公募や例規改正の方向性等について説明を受け、その場で執行役員会に意見を伝えました。

### (4) 委嘱事項4について

5月8日(水)の第3回委員会に、鈴木一永会長及び日弁所属の副会長5名全員(香坂薫副会長、米山尚志副会長、岩倉民芳副会長、服部秀一副会長、鶴谷裕二副会長)と、前年度官房役副会長であった黒川恵執行理事にお出でいただき、鈴木一永会長の政策(特に、日弁政策委員会が検討に積極的に関与した政策)についての実行状況と実行予定について説明を受け、質疑応答を通じて活発な議論をしました。

### (5) 委嘱事項5について

日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策(10年後を見据えて)の検討テーマとして「会務活動(社会貢献活動含む)活性化」を選定し、12月16日付で以下の意見書を執行役員会に提出しました。

「 意見書

令和6年12月16日

日本弁理士会  
会長 鈴木 一永 様

日本弁理士クラブ  
幹事長 石橋 良規  
政策委員長 長濱 範明

日本弁理士クラブでは「日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策(10年後を見据えて)」について継続的に検討しており、その本年度の結果として、以下の意見を提出いたします。

#### 1 意見

日本弁理士会のあるべき姿を検討するにあたり、会員である弁理士の数が増加し、活動する場も多様化する中で、個々の弁理士が弁理士としての自覚をもって活動することの重要性を再認識するに至った。そのよ

うな活動として、日本弁理士会会則（会則第17号。以下「会則」という。）第40条には、会務運営への積極的参加（同条第3項）に加え、弁理士の専門知識を活かした社会貢献活動（同条第5項。以下単に「社会貢献活動」という。）が規定されており、社会貢献活動を通じて、弁理士としての自覚の醸成や日本弁理士会の活動への関心の高まり、さらには弁理士の社会的な地位の向上なども期待されることから、会員である弁理士に社会貢献活動を促すことを長期的政策の一つにすべきである。

## 2 理由

弁理士は、知的財産に関する専門家として、知的財産権の適正な保護及び利用の促進その他の知的財産に係る制度の適正な運用に寄与し、もって経済及び産業の発展に資することを使命としている（弁理士法第1条）。すなわち、弁理士は、知的財産制度を支える者として社会に存在し、知的財産に関する実務的な貢献などに加え、政府や地方公共団体、教育機関などから社会貢献活動を行うことも期待されている。そのため、弁理士が社会貢献活動を行うことは、その使命に照らして弁理士に求められる行為の一つであると考えられる。

会則第40条第5項が、「会員は、弁理士の専門知識を活かし、積極的に社会貢献活動に参加するよう努めなければならない。社会貢献活動には本会等が行う対外的な貢献活動のほか、会員が本会等の外で行う公益活動を含む。」と規定しているのは、このためである。

一方、会員である弁理士の数が増加し、活動する場も多様化する中で、日本弁理士会の活動に無関心な会員の増加が懸念されており、今一度個々の弁理士が弁理士としての自覚、すなわち前記使命を担う知的財産に関する専門家たる自覚を再認識し、個々の弁理士が弁理士としての自覚をもって活動する場を広げていくことが大切である。

そのためには、以下に説明するとおり、会員である弁理士に社会貢献活動を促すことが有効であり、社会貢献活動を通じて、弁理士としての自覚の醸成や日本弁理士会の活動への関心の高まり、さらには弁理士の社会的な地位の向上なども期待される。

すなわち、社会貢献活動としては、「会員が本会等の外で行う公益活動を含む」ため、例えば小中高校など身近な教育現場で知的財産に関する授業を行うことなども、弁理士に求められる社会貢献活動の一つである。また、社会貢献活動の概念自体は、固定的に捉えるべきでなく、弁理士に求められる社会的なニーズに応じて柔軟に解釈する必要があると考えられる。現在、日本弁理士会の知的財産支援センターが教育現場での支

援などを行っているが、社会貢献活動の概念自体をより柔軟に解釈することによって、日本弁理士会の活動への参加機会を広めることができる。それによって、委員会などの会務活動を行っていない会員に対しても、弁理士としての自覚を再認識する機会をもたらすとともに、日本弁理士会の社会貢献を含めた活動への関心の高まりと活性化を図ることに繋がり、ひいては弁理士の社会的な地位の向上にも資することが期待できる。

さらに、社会貢献活動を通じて弁理士に求められる社会的なニーズを吸い上げ、それに応じて日本弁理士会のあるべき姿（例えば、設けるべき組織を含む会務活動のあり方）を具現化することも期待できる。

したがって、前記意見のとおり、会員である弁理士に社会貢献活動を促すことを長期的政策の一つにすべきである。

以上」

## 4. おわりに

本年度は、日弁協議委員会を中心に次期会長候補の擁立に関し慎重に検討された結果、日弁としては擁立せず、西弁が初めて擁立する会長候補を推薦することが決定されました。それを受けて、日弁と西弁に連合も加わって三派で政策協議する場の実現を模索し、次期会長候補予定者の政策案（マニフェスト案）を三派でブラッシュアップできたことは、会務運営の三派協力体制をより強固なものとしていくうえで必ずや有益であろうと確信します。

このように次期会長候補予定者の政策案を練り上げる過程で三派でブラッシュアップするということはおそらく初の試みで、短期間で複数回にわたる検討と修正にはかなりの労力を要するものでしたが、三派の経験豊富な関係者全員が真剣にかつ前向きに検討したからこそその意見が多岐にわたって抽出されたことは貴重であり、さらにここで三派が協力したことは今後の会務運営における三派の協力体制にも生きていくはずです。

このような試みを受け入れてくれた西弁の懐の深さと、趣旨を理解し早期に賛同してくれた連合の協力の、そして、短期間で複数回にわたって検討いただいた日弁各派の政策関係者各位に、紙面をお借りして改めて感謝申し上げます。

以上



## 令和6年度 日弁協議(選挙対策) 委員会報告

委員長 伊丹 勝

### 1. 委員の構成

委員長 伊丹 勝 (南甲)  
副委員長 坂本 智弘 (PA)  
          太田 昌孝 (春秋)  
          津田 理 (南甲)  
          篠原 淳司 (無名)  
          藤坂 恭史 (稲門)  
委員 帯包 浩司 (PA)  
          武田 雄人 (PA)  
          高城 貞晶 (春秋)  
          平山 淳 (春秋)  
          井上 佳知 (南甲)  
          藤沢昭太郎 (南甲)  
          久松 洋輔 (無名) ~ 8月  
          齋藤 康 (無名)  
          本間 博行 (無名) : 9月~  
          西村 公芳 (稲門)  
          中村 聡 (稲門)

### 2. 委員会開催状況

#### (1) 協議委員会

第1回 1月25日 (木) 弁理士会館  
第2回 2月14日 (水) 弁理士会館  
第3回 3月 5日 (火) 弁理士会館  
第4回 4月 2日 (火) 弁理士会館  
第5回 5月 7日 (火) 弁理士会館  
第6回 6月 4日 (火) 弁理士会館  
第7回 7月 8日 (月) 弁理士会館  
第8回 8月 6日 (火) 弁理士会館  
第9回 9月 3日 (火) 弁理士会館

#### (2) 選挙対策委員会

第1回 9月 9日 (月) 弁理士会館  
第2回 9月11日 (水) 弁理士会館  
第3回 11月5日 (火) 弁理士会館

### 3. 候補者紹介イベント

9月6日 (火) 弁理士会館

日本弁理士クラブ推薦の副会長候補者の人柄を紹介するための候補者紹介イベントを開催しました。候補者にまつわる話題をクイズ形式で出題し、個人戦と5会派によるチーム戦を開催し、大変盛り上がりしました。成績上位者には、当選祝賀会で石橋日弁幹事長名の賞状を授与しました。企画・進行をしていただきました太田副委員長他、関係者の皆様、お疲れ様でした。

### 4. 当選祝賀会

11月21日 (木) 如水会館 ペガサス

副会長選挙を見事勝ち抜いた日本弁理士クラブ推薦の次期副会長をはじめとして、次期監事、次期常議員の当選者を祝福しました。西日本弁理士クラブ及び弁理士連合クラブの選対関係者の皆様も招待し、西日本弁理士クラブからは、次期会長の北村修一郎先生にご挨拶を頂きました。歓談の間には、石橋日弁幹事長による、候補者紹介イベントのクイズの優勝者及び優勝チームの表彰が行われ、会場は大いに盛り上がりました。企画・進行をしていただきました坂本副委員長他、関係者の皆様、お疲れ様でした。

### 5. 審議経過および選挙について

#### (1) 会長選挙について

本年度は会長選挙の年であり、日本弁理士クラブとして、会長候補を擁立すべき年に当たっていました。しかし、既に西日本弁理士クラブが会長候補を擁立することを機関決定していましたので、日本弁理士クラブとして会長候補の調整及び擁立に進んだ場合、西日本弁理士クラブとの間で会長選挙が行われる可能性が極めて高い状況にありました。会長候補予定者を擁立することを希望し、協議委員会で候補予定者のお名前も発表された会派もありましたが、この点の事情も含め、次のステップに進むかどうかについて、協議委員会内で慎重に議論をしました。

協議委員会では、主に、①日本弁理士クラブと西日本弁理士クラブとが選挙を戦った場合、今後の日本弁理士会の会務と今後の会長選挙に及ぼす影響、②西日本弁理士クラブでは2度の会長擁立機会を果たすことができず、初の会長輩出が悲願であり、次年度がそのタイミングであると考えており、候補者を下す可能性は極めて低いこと、③次年度は、日本弁理士会が出展を予定している大阪・関西万博が開催されること、④これまでの歴代会長は全て関東出身であるが、関東圏以外からの会長が就任した場合の日本弁理士会全体に与えるメリット・デメリット等を総合的に踏まえ、慎重に議論を重ねました。その結果、既に会長候補予定者を擁立することを機関決定していた会派も含め、最終的には、会長候補予定者の推薦については、協議委員長に一任するとの意見にまとまりました。

そこで、協議委員会内で、西日本弁理士クラブの会長候補予定者の政策、西日本弁理士クラブ内でのサポート体制等を伺ったうえで、再度協議を行い、最終的な日本弁理士クラブとしての方向性を決定しました。結論は、「本年度は日本弁理士クラブとして会長候補予定者は擁立せず、西日本弁理士クラブの北村修一郎弁理士を推薦する」というものでした。但し、西日本弁理士クラブには、日本弁理士クラブの政策委員会と十分な政策協議を行い、協議内容を政策に反映させることを申し入れました。

1月の協議委員会から最終決定の5月まで、5カ月の期間を要しましたが、会長候補予定者の擁立を予定していた会派も含めた全ての会派の適切なるご判断に、心より感謝を申し上げます。また、石橋幹事長、長濱政策委員長を始め、日弁幹事会、政策委員会の皆様には、西日本弁理士クラブとの協議、政策会合などにご尽力頂いたことに感謝申し上げます。

## (2) 副会長選挙について

会派推薦の副会長候補者8名に加え、企業出身の無会派の副会長候補者1名が立候補したため、選挙となりました。無会派の副会長候補者の出

馬は、予想外でありましたが、副会長選挙では、各会派の日頃からの準備と努力により、地道に票を積み上げ、結果として日本弁理士クラブ所属の候補者全員の当選を果たすことができました。獲得した票は、日弁約2700票、西日本約1300票、連合約1100票、無会派候補者は約300票でした。組織票の強さが結果に現れた選挙となりました。

選挙に際し、多大なご尽力を頂いた、日弁各クラブの選挙関係者の皆様には、心より御礼を申し上げます。

## (3) 監事、常議員選挙について

監事は、候補者数が定数を超えなかったため、無選挙となりました。

常議員関東ブロックについては、2名オーバーとなったため、弁理士連合クラブと日本弁理士クラブとでそれぞれ1名ずつ調整することにより、無選挙となりました。調整に尽力して頂いた石橋幹事長並びに調整に応じて頂いた会派及び候補予定者の方には、心よりお礼申し上げます。

## 6. 総括

本年は、会長選挙の5ヶ月にもわたる候補者調整に始まり、予想外の副会長選挙、常議員の調整等、中身の濃い協議委員会、選挙対策委員でした。厳しい選挙でしたが、日弁候補者全員当選という最良の結果で選挙戦を終わることができましたのも、ひとえに、石橋良規日弁幹事長を始めとする日弁幹事各位、長濱政策委員長を始めとする政策委員会各位、協議委員会の委員各位、日弁各会派及び他会派の関係者の皆様の多大なるご協力のおかげです。当委員会委員長として改めてお礼を申し上げます。



## 令和6年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修委員長 中村 恵子

令和6年度研修委員会につきまして、以下の通り  
ご報告致します。

### 1. 開催回数

研修委員会 9回  
研修会 2回

### 2. 委員会の構成

担当副幹事長（稲門）松橋 純裕  
委員長 （稲門）中村 恵子  
委員  
（P A）亀山 育也  
田中 有希  
（春秋）篠森 重樹  
四野宮隆紘  
（南甲）飯村 重樹  
木下 智文  
（無名）大島 直人  
増田 綾香  
（稲門）小田切康人  
廣橋 武

### 3. 研修内容

#### （1）継続研修

本年度は、弁理士の安立卓司先生をお招きし、コ  
ロナ禍以降初のリアル開催の研修の企画を行いました  
。当日は、石橋幹事長・松橋副幹事長のご挨拶と  
ともに、亀山委員が司会、小田切委員が受付、篠森  
委員、四野宮委員、増田委員、廣橋委員が会場整理  
等を担当しました。

リアル開催でしたが多くの先生方のご参加を賜  
り、盛況のうちに終了致しました。講義内容が大変  
好評で、第2回を望む声も多くありました。研修実  
施後の懇親会では、本年度の活動を振り返り、委員

の親睦を図ることができました。

日時 令和6年（2024年）10月1日（火）  
18：00～19：40（途中休憩10分含む）

場所 弁理士会館 3AB会議室

題目 『「新しい意匠」を出願する際の留意点』

講師 弁護士 安立 卓司先生

取得単位：1.5単位

#### （2）特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

例年同様、他機関による特定侵害訴訟代理業務試  
験対策研修が開催されていないため、日本弁理士ク  
ラブが開催する本講座は受講者から大きな期待を寄  
せられておりました。

また、オンライン講座、通信講座、オンライン講  
座＋通信講座のいずれかを選択して受講できるた  
め、関東圏・関西圏から多くのご参加を戴き、昨年  
度よりも参加者が増加しました。小問対策として  
昨年度の研修内容の通信講座のお申込みもありま  
した。

当日のオンライン講座は、篠森委員が中心となっ  
て開催され、通信不良等もなく、盛況のうちに終了  
しました。

#### オンライン講座

日時 令和6年（2024年）9月6日（金）  
18：30～20：30

場所 ライブ配信研修（Zoomによるオンライン  
開催）

題目 『令和4年度第1問、第2問解説』

講師 弁護士・弁理士 石神恒太郎先生

#### 通信講座

- ・令和4年度第1問、第2問解説
- ・令和2年度第1問、第2問解説
- ・平成30年度第1問、第2問解説

以上

## 会報委員会報告

令和6年度会報委員長 生 塩 智 邦

令和6年度会報委員会の活動につきまして、下記のとおりご報告いたします。

### 1. 委員の構成

委員長	生塩	智邦 (P A)
委員	樋口	喜弘 (P A)
	岡田	健太郎 (P A)
	山川	啓 (春秋)
	上野	勝也 (春秋)
	林	裕己 (南甲)
	川村	健人 (南甲)
	松田	隆子 (無名)
	関	誠之 (無名)
	松田	真 (稲門)
	伏見	祥子 (稲門)
担当副幹事長	鈴木	大介 (P A)

### 2. 活動内容

R6年2月21日	第1回会報委員会
R6年7月17日	第2回会報委員会
R6年7月中旬	執筆者決定
R6年7月下旬	執筆者に原稿依頼
R6年8月末旬	原稿提出締切
R6年11月5日	校了
R6年11月18日	会報誌納品 (各会派宛)
R6年12月23日	発刊慰労会

### 3. 発刊実績

会報「日弁」第48号の発行

発行部数：2,788部

内訳 PA会：1,013部

春秋会：810部

南甲弁理士クラブ：450部

無名会：250部

稲門弁理士クラブ：195部

以上



## 広報委員会報告

令和6年度広報委員長  
前田大輔

- 日弁及び各会派で主催の研修会の案内
- 日弁会報の掲載

以上

令和6年の広報委員会の構成及び活動内容について、次の通りご報告いたします。

### 1. 委員の構成

委員長	前田 大輔 (P A)
委員	谷水 浩一 (P A)
	安高 史朗 (P A)
	井伊 正幸 (春秋)
	古野 裕介 (春秋)
	大坂 尚輝 (南甲)
	平井沙恵子 (南甲)
	竹山 尚治 (無名)
	金森 寛 (無名)
	綾木健一郎 (稲門)
	岡田 薫 (稲門)

### 2. 会合及び審議内容

- 開催日時：令和6年2月21日
- 場所：ZOOMによるWEBミーティング（会報委員会と合同開催）
- 議事：幹事長挨拶、副幹事長挨拶・活動説明、出席者自己紹介、日弁広報委員会の業務の確認

### 3. 活動報告

昨年度に引き続きホームページの更新・維持・管理を実施しました。一昨年のリニューアルを経て、現状の用途においてはホームページ内にて特に大きく改修すべき箇所はないと思われまます。本年度は、ホームページにおいて具体的に以下のことを行いました。

- 幹事長就任挨拶の掲載、組織内容の更新
- 日弁の活動報告、各種企画の紹介、写真掲載
- 日本弁理士会への貢献ページの更新



## 令和6年度 日本弁理士クラブ リレーマラソン報告

令和6年度リレーマラソン担当副幹事長  
松橋 純 裕

令和6年度の日弁リレーマラソンは、2024年11月17日（日）に有明の東京臨海広域防災公園で開催された「第14回 ゆりかもめリレーマラソン」に参加する形で開催しました。1周約1.3Kmのフラットな周回コースを16周（合計約21Km）する大会でした。当日は、スポーツ日和というに相応しい天気でしたが、ランニングには少し暑すぎるくらいの晴天でした。



日弁5会派の参加人数は合計44名。令和5年度とほぼ同数の参加者で盛り上がりましたが、開催日がアジア弁理士協会（APAA）の年次大会の日程と重なってしまったため、参加を予定されていた方が一部参加できませんでした。ご参加できなかった方々に、この場を借りてお詫びいたします。この点は、反省点として次年度に引き継ぎます。

参加チームは、P A会から2チーム（「P A会チャーター」、「P A会マンチカン」）、春秋会から2チーム（「春秋会アスリート」、「春秋会ファンラン」）、南甲から2チーム（「南甲きさらぎwith Naoki」、「南甲ゆかいな仲間たち」）、無名会から1チーム（「弁理士団体無名会」）、稲門から1チーム（「稲門競走部」）、全部で8チームが参加しました。

成績は、以下のとおりです。

優勝：春秋会アスリート

2位：南甲ゆかいな仲間たち

3位：南甲きさらぎwith Naoki

4位：P A会チャーター

5位：弁理士団体無名会

6位：稲門競走部

7位：P A会マンチカン

8位：春秋会ファンラン

1時間21分59秒を記録して優勝した「春秋会アスリート」は、大会の総合順位でも第12位と大健闘をしました。また、女性ランナーでも参加しやすいように、女性ランナーの周回数に60秒のハンデを与える日弁リレーマラソンの特別ルールを採用した結果、上位3位までの順位に変動はありませんでしたが、「弁理士団体無名会」と「P A会マンチカン」は順位を上げることが出来ました。



表彰式を兼ねた懇親会では、1位から3位までのチームに、令和6年度日弁幹事長の石橋良規先生から賞品が手渡されました。懇親会も盛会のうちに終了することができました。その後、リレーマラソンの興奮が冷めやらない多くの先生方は、2次会に流れていったようです。



日弁リレーマラソンは、年々、盛り上がりを見せています。今年度もたくさんの先生方にご参加いただけることを期待しています。

大会当日の晴天は、晴れ男の石橋幹事長のおかげだと思いますが、怪我もなく、スムーズに懇親会まで実施することができたのは、令和6年度の日弁リレーマラソンの企画・運営にご協力をいただいた関係者の皆様のおかげです。末筆ながら、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



## 令和6年度 日本弁理士クラブ ボウリング大会報告

令和6年度ボウリング大会担当副幹事長  
鈴木 大介

本年度のボウリング大会は次の要領で開催しました。

- (1) 開催日 2024年12月3日（火）  
18時15分 集合
- (2) 時間配分
  - ①始球式 18時28分（石橋良規 日弁幹事長）
  - ②ゲーム 18時30分～20時00分（1人3ゲーム）
  - ③懇親会 20時15分～22時15分
- (3) 会場 高田馬場グランドボウル  
新宿区高田馬場1-35-3 BIGBOX 8F  
<http://www.grandbowl.jp/takadanobaba/>  
（西武新宿線・山手線・東西線「高田馬場駅」下車すぐ）
- (4) 会費 7,500 円／人

（結果）

団体戦優勝：P A会

個人戦優勝：大塚 啓生 先生

レディース部門優勝：田中 有希 先生

2位：磯田 志郎 先生

（中略）

10位：太田 敢行 先生

ハイゲーム賞：

磯田 志郎 先生

竹山 尚治 先生

櫛淵 堯彦 先生

大波賞：松橋 純裕 先生

小波賞：森脇 理生 先生

高田馬場グランドボウルは昨年と同じ会場であり、JR高田馬場駅に直結した交通至便の会場です。

日弁幹事長の石橋良規先生の始球式を皮切りに、3名ずつの各レーンで白熱した投球が繰り広げられま

した。事前に集まって練習会をした会派もあったと聞いております。

ゲーム終了後、徒歩数分の懇親会場まで歩き、結果発表と表彰式を行いました。入賞した参加者は、石橋幹事長より商品を授与され次々と笑顔で記念撮影。

団体戦優勝のP A会は三連覇です。来年は他の会派の奮起に期待します。

懇親会の料理などが少し物足りなかった、でも会費は値上げしたくない、という運営側としての正直な感想を述べます（笑）。担当副幹事長として、日弁に補助金の増額をお願いしました。

ボウリングは、運動不足やストレスの解消としても気軽にできるスポーツであり、日弁会員同士の交流を深めるうえでも貴重なイベントの1つですので、今後も末永く継続していただきたいと思います。



## 令和6年度会合行事記録

令和6年度副幹事長 大塚 啓 生

月	総会・相談役会・行事	幹事会	委員会	その他
1月		1/15 引継ぎ会 1/22 第1回	1/25 第1回協議	
2月		2/19 第2回	2/14 第2回協議 2/15 第1回研修 2/21 第1回広報会報 2/16 第1回研修	2/28 西日本弁理士クラブとの 意見交換
3月	3/13 第1回相談役会 3/19 第1回定時総会 3/19 次年度執行部紹介 イベント	3/18 第3回	3/ 4 第1回政策 3/ 5 第3回協議 3/28 第2回研修	3/14 日本弁理士会臨時総会
4月		4/15 第4回	4/ 2 第4回協議 4/10 第2回政策 4/25 第3回研修	4/24 西日本弁理士クラブとの 意見交換
5月		5/13 第5回	5/ 7 第5回協議 5/ 8 第3回政策	5/24 日本弁理士会定時総会 5/24 第1回三派交流会・懇親会
6月	6/22-23 旅行会、 ゴルフ大会	6/17 第6回	6/ 4 第6回協議 6/12 第4回政策（西日本 弁理士クラブと合 同政策検討会） 6/27 第4回研修	6/18 弁理士連合クラブとの意 見交換
7月		7/16 第7回	7/ 2 第7回協議 7/10 第5回政策（西日本 弁理士クラブ及び 弁理士連合クラブ と三派合同政策検 討会） 7/11 第1回マラソン大会 実行委員会	7/10 弁理士連合クラブとの意 見交換 7/13-14 西日本弁理士クラブ 旅行会 7/25 弁理士連合クラブとの意 見交換
8月	8/27 第2回相談役会	8/19 第8回	8/ 6 第8回協議 8/ 7 第6回政策（西日本 弁理士クラブ及び 弁理士連合クラブ と三派合同政策検 討会）	
9月	9/ 3 立候補予定者紹介 イベント 9/ 6 特定侵害訴訟代理 業務試験対策講座 (第1回研修)	9/17 第9回	9/ 3 第9回協議 9/ 4 第7回政策 9/ 9 第1回選対 9/11 第2回選対	9/7-8 弁理士連合クラブ旅行会
10月	10/ 1 第2回研修	10/21 第10回	10/ 9 第8回政策	10/11 各派役員選挙当選祝賀会
11月	11/17 マラソン大会 11/20 第3回相談役会 11/21 第2回定時総会 11/21 役員選挙当選祝賀 会	11/11 第11回	11/ 5 第3回選対 11/13 第9回政策（西日本 弁理士クラブ及び弁 理士連合クラブと三 派合同政策検討会）	11/ 6 同友会創立60周年記念式 典・祝賀会
12月	12/ 3 ボウリング大会	12/10 引継ぎ会 12/16 第12回	12/10 第10回政策	

## 令和6年度総会承認事項

令和6年度副幹事長 大塚 啓 生

### 第1回定時総会

日 時：令和6年3月19日（火）  
午後6時00分～7時00分  
会 場：弁理士会館2階 AB会議室

- (1) 令和5年度日弁事業報告の承認を求める件  
鈴木大介副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。
- (2) 令和5年度日弁決算報告の承認を求める件  
石原進介副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。
- (3) 令和5年度日弁事業計画の承認を求める件  
石橋良規幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。
- (4) 令和6年度日弁予算の承認を求める件  
石橋良規幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。
- (5) 令和6年度日弁予算の予備費の取り崩しに関し幹事会への一任についての承認を求める件  
石橋良規幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。
- (6) 令和7年度日本弁理士会（関東会を含む）役員推薦に関し幹事会への一任についての承認を求める件  
石橋良規幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

### 第2回定時総会

日 時：令和6年11月21日（木）  
午後5時40分～6時15分  
会 場：如水会館 ペガサスの間

- (1) 令和7年度日本弁理士クラブ幹事長選任の承認を求める件  
長濱範明会員を選任することについて、賛成多数により承認された。
- (2) 令和7年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の承認を求める件  
石原進介会員を選任することについて、賛成多数により承認された。
- (3) 令和7年度日本弁理士クラブ副幹事長・幹事・会計監事選任に関し幹事会への一任の承認を求める件  
石橋良規幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

以上



## 令和6年度 最終会計報告

令和6年度会計担当副幹事長  
石原進介

令和7年度第1回日弁総会において、令和6年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告させていただきます。

支出の部の実績では、支出が予算分を超えた箇所はなく、予備費からの取り崩しはありませんでした。令和6年度は、日弁からは会長候補を擁立せず、副会長の投票選挙のみ行われました。会長選を考慮して予算を作成したため、「協議・選対委員会」の項目の支出が、会長選挙のある年よりも、支出が少なくなりました。

また、令和6年度は、日弁旅行会は鬼怒川温泉にて開催され、コロナ明けで久しぶりの宴会場での107名による大宴会が催され、これぞ「ザ・宴会」という雰囲気を満喫しました。

昨今の物価上昇のあおりを受け、様々なものが値上がりしていたため、日弁旅行会の予算を石橋幹事長が例年よりも若干多めに確保したことが功を奏し、予算の範囲内で開催することができました。今後も、物価上昇の傾向は続くものと予想されますので、旅行会や祝賀会などは、予算をにらめっこしながら企画・開催していくことになりそうです。

皆様の日頃のご協力に感謝するとともに、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

(単位：円)

収入の部	実績	予算額
前年会計からの繰越金	5,183,765	5,183,765
各クラブ分担金	2,500,000	2,500,000
利息	208	30
R5年活動準備費(前年より)	300,000	300,000
その他	0	0
<b>合計</b>	<b>7,983,973</b>	<b>7,983,795</b>

(単位：円)

支出の部	実績	予算額
例会・総会	87,807	200,000
幹事会	268,700	500,000
会報委員会	629,175	1,000,000
協議・選対委員会	△704,347	3,000,000
政策委員会	200,000	200,000
規約委員会	0	0
広報委員会	19,404	200,000
研修委員会	△387,179	200,000
相談役会	44,877	100,000
旅行会	1,046,224	1,100,000
旅行会ゴルフ大会補助	27,956	50,000
ボウリング大会補助	50,000	50,000
テニス大会補助	320	50,000
リレーマラソン補助	50,000	50,000
庶務	31,790	30,000
		1,790
慶弔費	68,994	150,000
渉外・交通	437,840	500,000
幹事長渉外費	167,090	200,000
PG/WG活動費	0	0
次年度活動準備費	300,000	300,000
予備費	0	103,795
		0
		△1,790
<b>合計</b>	<b>2,338,651</b>	<b>7,983,795</b>
収入－支出(次年度繰越金)		<b>5,645,322</b>